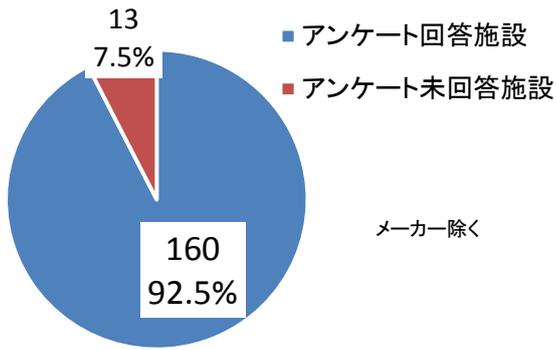
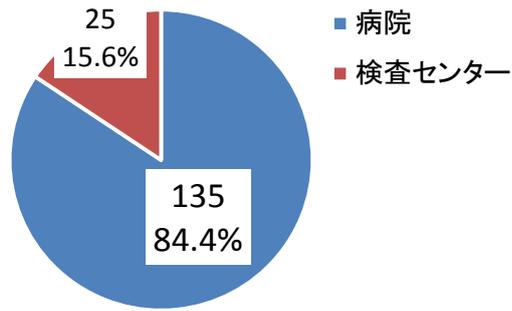


第48回 九州臨床検査精度管理研究会 輸血 アンケート調査報告

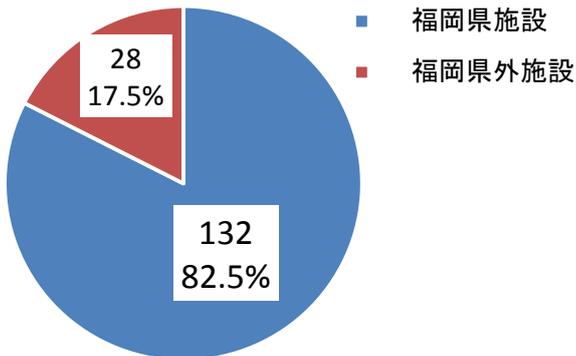
第48回 九州臨床検査精度管理 輸血 アンケート



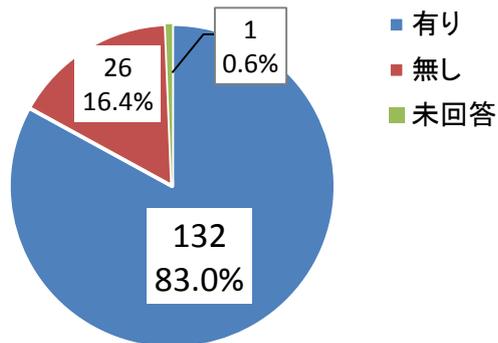
第48回 九州臨床検査精度管理 輸血 アンケート



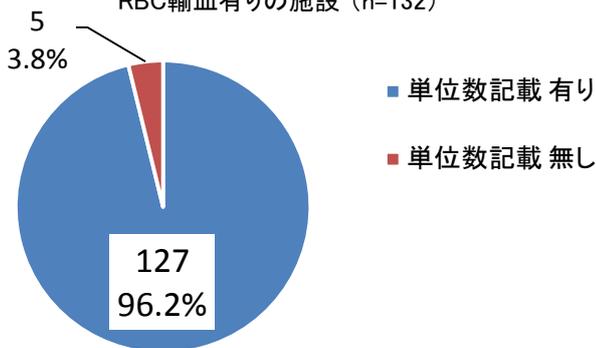
第48回 九州臨床検査精度管理 輸血 アンケート



第48回 九州臨床検査精度管理 輸血 アンケート
RBC輸血の有無(過去1年間)



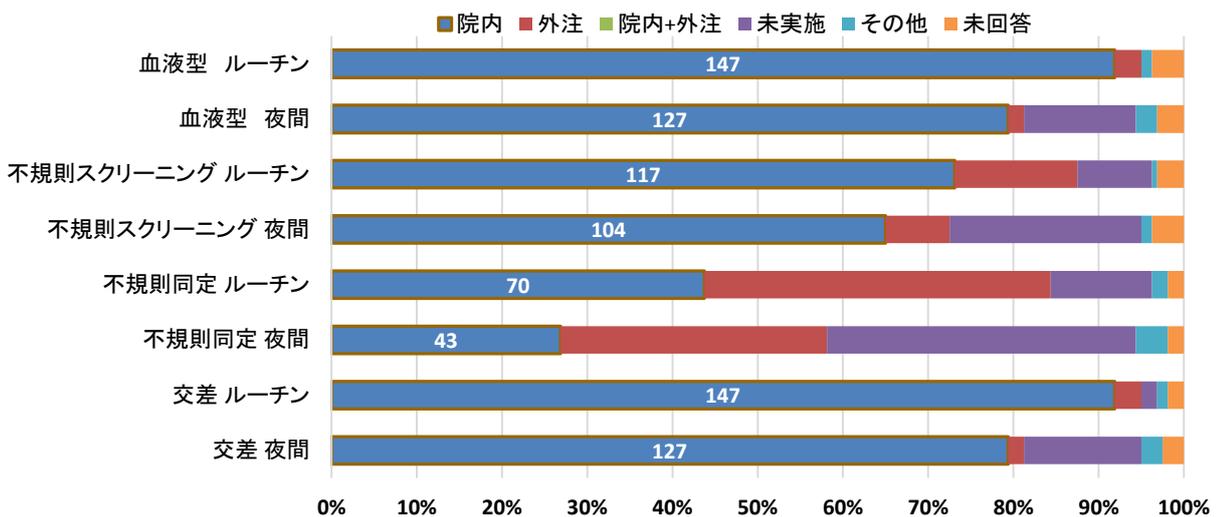
第48回 九州臨床検査精度管理 輸血 アンケート
RBC輸血有りの施設 (n=132)



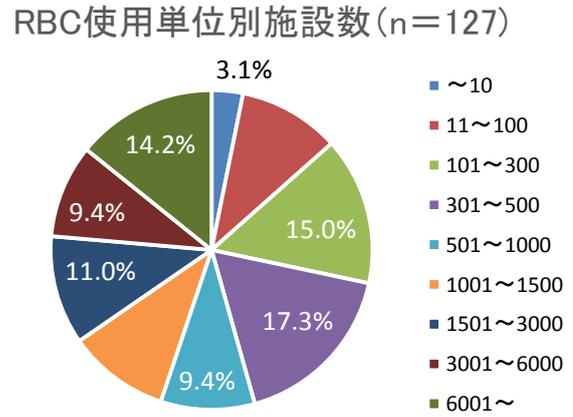
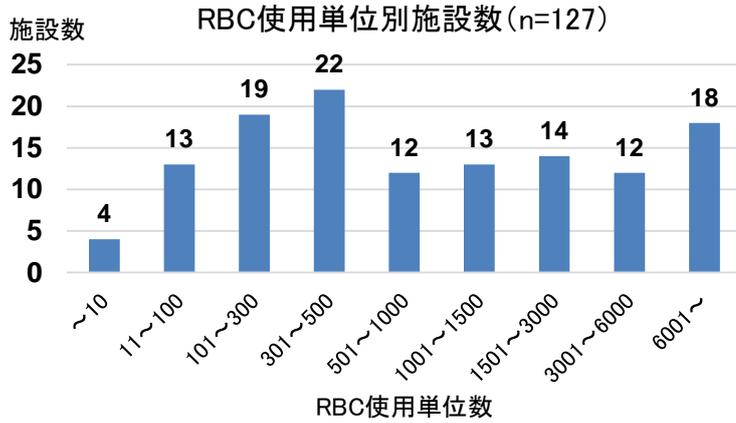
RBC集計

n数	127	施設
全使用単位数	313,530	単位
平均	2,469	単位
最高	21,537	単位
最低	5	単位

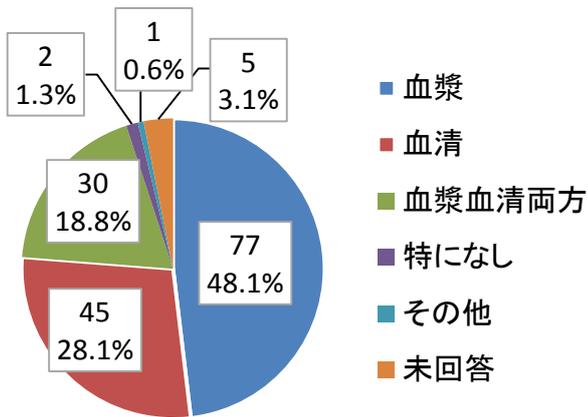
第48回 九州臨床検査精度管理 輸血アンケート
検査体制 (n=160)



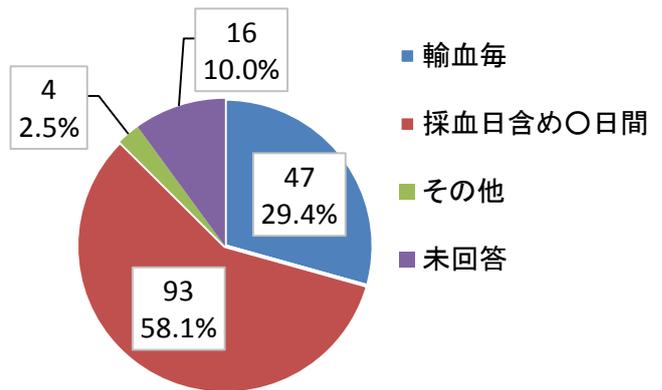
第48回 九州臨床検査精度管理研究会 輸血 アンケート調査報告



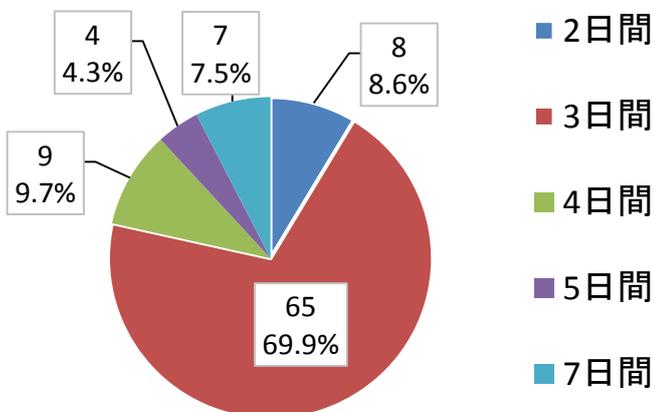
第48回 九州臨床検査精度管理 輸血 アンケート
交差適合試験採血種類



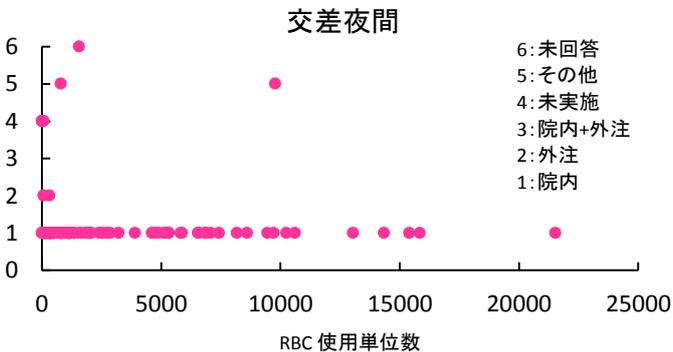
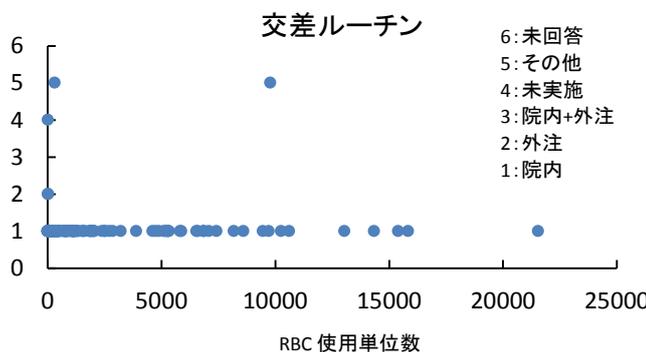
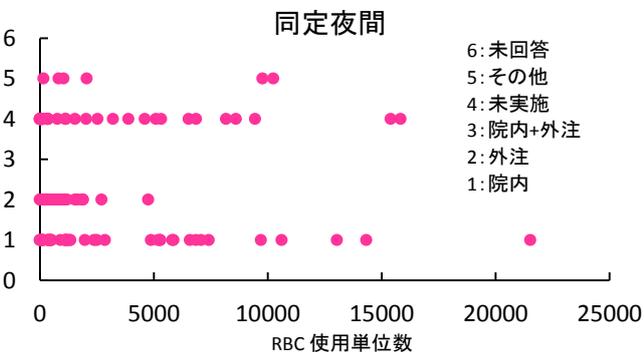
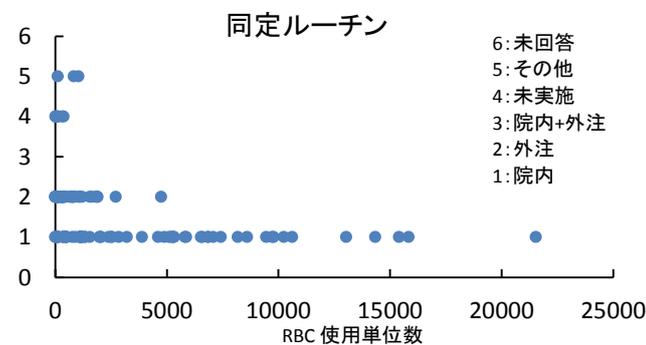
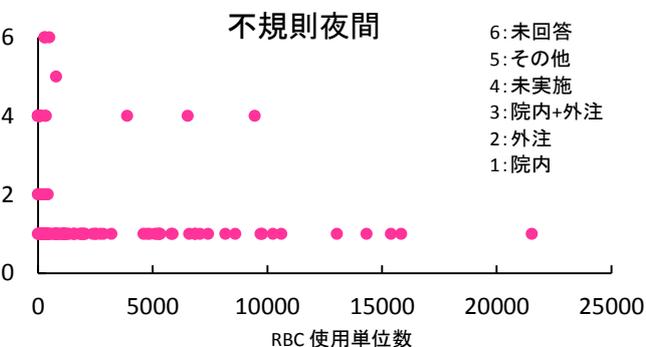
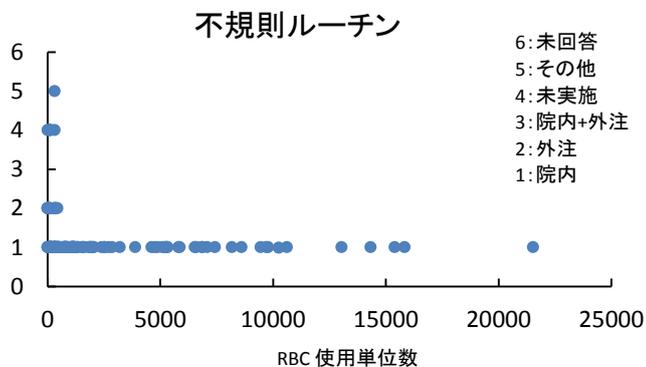
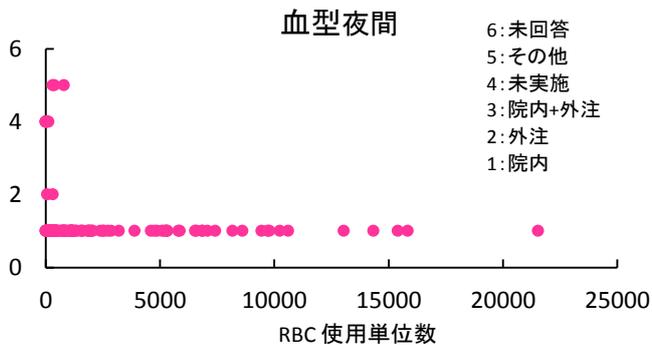
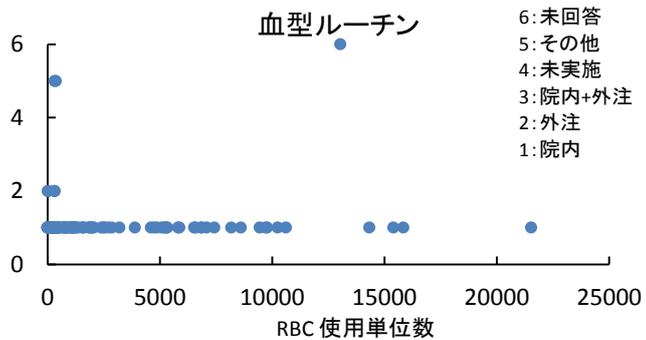
第48回 九州臨床検査精度管理 輸血 アンケート
交差適合試験採血有効期限



第48回 九州臨床検査精度管理 輸血 アンケート
交差適合試験採血有効期限 採血後



第48回 九州臨床検査精度管理研究会 輸血 アンケート調査報告



第48回 九州臨床検査精度管理研究会 輸血 アンケート調査報告

【気になる回答】

	今年	昨年
全て外注なのに、院内試験管法にて精度管理の回答を行っている。	1件	(1件)
血液型、Rhが「その他」であったが、精度管理の回答を行っている。	0件	(0件)
血液型が外注であるが、精度管理の回答を行っている。	1件	(4件)
同定が外注であるが、精度管理の回答を行っている。	3件	(1件)
不規則抗体スクリーニング院内だが、精度管理不参加。	1件	(2件)
交差適合試験が院内だが、精度管理不参加。	0件	(0件)
同定ルーチンが未回答。	0件	(0件)

【総評】

- ・アンケートの回収率は 92.5% (173施設中160施設の回答、メーカーを除く)であった。
- ・福岡県の施設が、全体の82.5%(160施設中132施設)であった。
- ・参加施設の90%以上が、院内で血液型検査と交差適合試験を行っていた。
- ・RBC使用単位数が多くなるほど、院内での検査実施率が高くなっていたが、RBC使用単位数が多いにもかかわらず、不規則抗体スクリーニングや同定検査を院内で実施していない施設も見受けられた。
- ・気になる回答では、輸血関連検査が外注にも関わらず、試験管法での結果が返却された施設が、5施設見受けられた。詳しく聞き取りをしていないが、アンケートの書き間違い、精度管理のみ院内で実施、外注の結果をそのまま報告したなどが考えられる。
- ・今年は新たな設問として、輸血用の採血について行った。
- ・輸血用の採血は、「血漿採血」が最も多かった(48.1%)。
- ・輸血用の採血は、「採血後3日間」が最も多かった(69.9%)。

精度管理と同時に、アンケートに回答頂いた施設の方々に、深謝致します。

また、今年は初のWeb入力で慣れない作業だったと思いますが、ご協力に大変深謝致します。